

組織名	戸田市政策研究所
-----	----------

1 組織概要

所在地	埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号 戸田市役所 4階 政策秘書室
TEL	048-441-1800 内線470
FAX	048-431-6790
URL	http://www.city.toda.saitama.jp/life/7/67/
e-mail	seisaku@city.toda.saitama.jp
設立	2008年4月1日
設置都市等	埼玉県戸田市
代表者	秋山純(所長/副市長)

2 組織動向

(1) 沿革

設置経緯	2008年4月、戸田市の政策形成力を高め、的確な政策展開を図ることを目的として設置
見直しの動向	—
役割(2018年時点)	<p>【調査研究機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調査事業 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査 ・基礎調査 ○研究事業 <ul style="list-style-type: none"> ・政策企画 ・政策研究 ・外部機関との共同研究 <p>【政策支援機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修教育事業 <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム開催 ・「政策形成基礎研修」開催 ・庁内自主勉強会「戸田ゼミ」開催 ○政策相談事業 <ul style="list-style-type: none"> ・庁内政策相談窓口 ・市長公約と行政計画の整合 ○情報発信事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ開設 ・戸田市政策研究所「めるまが」の配信 ・研究報告書発行 ・大学での寄附講座開催

(2) 組織体制

設置形態(択一)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
常勤職員数	4人
うち常勤研究員数	4人 (専任1名)
非常勤研究員数	0人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
庶務体制	専任の研究員が行っている
市民参加、外部連携	大学、外部研究機関及び民間企業との共同研究を実施

(3) 会計

会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2018年度予算	5,924 千円	
2017年度決算	5,730 千円	
2016年度決算	4,004 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	設置部局の予算
	2位	
	3位	
	4位	

組織名	戸田市政策研究所
-----	----------

3 活動動向

(1) 活動実績	
定期刊行物	○調査研究報告書(年1冊発行)
(2) 活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に: 積極的な視察受入れ) <input type="checkbox"/> 特に行ってない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	○研究員は、年間の研究テーマについて調査研究を行う ○研究員は、外部の学識経験者(政策形成アドバイザー)や派遣職員との調整、庁内向けの研修(政策形成基礎等)の実施、庁内外への情報発信を行う
研究員の専門性育成の手立て	○外部の学識経験者(政策形成アドバイザー等)による指導 ○大学や外部研究機関等との共同研究による専門的知見や調査手法等の学習、蓄積
研究員のキャリアパス等	i) 税務課→当研究所→人事課 ii) 税務課→当研究所→経営企画課
その他	書籍「共感される政策をデザインする-公民連携による戸田市の政策づくりと教育改革-」を東京法令出版株式会社より発行

5 2018年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
住民主体のまちづくりに関する調査研究	<p>これからも戸田市が発展し続けていくためには、住民の転出抑制や定住化、まちを楽しむような地域コミュニティの活性化が重要となる。このようななか、従来の町会・自治会とは違った住民企画型のイベントの開催や、若い経営者による空き倉庫を活用した起業など、新たなスタイルのまちづくりが発出しつつある。</p> <p>そこで、「おしゃれ」「シビックプライド」「住民参加」をキーワードとし、戸田市の強みを生かした住民主体のまちづくりに向けて調査研究を実施した。</p> <p>また、本研究は、公益財団法人日本都市センターとの共同研究により進め、政策研究所では初めての試みとなる研究会形式(「住民がつくるおしゃれなまち研究会」)を採用し、調査研究を進めた。</p> <p>なお、内部体制としては、研究テーマに関連する部署の職員を構成員とするプロジェクトチームを組織し、自治体職員としての視点や各職場での経験を基に調査結果をまとめたものである。</p>
戸田市におけるスポーツ・レクリエーションを軸とした交流型まちづくりに関する応用研究	<p>近年、域外からまちに人を呼び込む活動とまちづくり活動を一体化させた「観光・交流方策」が注目を集めている。戸田市には、戸田ボートコースや彩湖・道満グリーンパークなどの地域資源があり、イベント時や週末などを中心に多くの来場者で賑わいをみせている。しかし、それらはボート競技者や市民にとって魅力ある場所として共有されているものの、その利活用は当事者同士で「する(楽しむ)」段階に留まっており、現時点で地域資源を活かした市民と来街者の「交流」を意識する動きには至っていない。</p> <p>そこで、本研究は、戸田市に点在するレクリエーション関連資源(スポーツ・レジャー・文化・余暇活動に関するハード・ソフト資源)を交流促進の観点から捉え直し、それらの利活用を前提とする戸田市における交流型まちづくりの可能性を総合的に研究を行った。</p> <p>なお、本研究は目白大学との共同研究として実施した。</p>
シビックプライドの効果及び向上手段に関する基礎研究	<p>人口減少時代においては、定住人口を獲得し続けることには限界があり、戸田市もいずれ人口減少へと転換することが予想される。そのため、シティプロモーションを通じて定住人口の獲得を目指す戸田市としては、市外からの転入促進を目指した施策から、既存住民の転出抑制を重視する施策へとシフトしつつある。また、住民の転出を抑制するためには、住民がまちに愛着を持ち、よりよい場所として感じる「シビックプライド」の向上が不可欠な要素である。しかし、シビックプライドは、その言葉自体が独り歩きしている感があり、その効果や向上する手段等が明らかにされていない。</p> <p>そこで、本研究では(1)既存調査からシビックプライドに関連する要因の洗い出しを行い、(2)行政だけでなく住民の実態や感覚を把握することで、(3)シビックプライドを中心とした構造を「見える化」する——ことを目的に実施した。</p> <p>なお、本研究は、シビックプライドに関する共同研究に関する協定を締結した、株式会社読売広告社との共同研究として実施した。</p>
データ分析に基づく戸田市の現状と課題	<p>行政の保有するデータを収集し、そこから市内5地区(下戸田・上戸田・新曽・笹目・美女木)の現状を分析することで、来たる15万人都市に向けた新たな施策を行政分野ごとに創造するための課題を抽出した。あわせて、国勢調査を中心とする一般的なデータを活用し、(1)人口(2)居住(3)就労・産業の分野ごとに集計を行った。</p> <p>また、類似自治体との比較や庁内の各部署によるSWOT分析を行い、更に主要データを整理することによって戸田市らしさにつながる県内の位置づけを明らかにした。</p> <p>なお、本研究については、分野横断的な行政データの活用や課題の抽出、施策等の検討を想定し、庁内の次長職で構成するまちづくり戦略会議の調査研究テーマとして実施した。</p>